

部局名	子ども部			所属名	元気子ども課			所属長名	矢部 和子			電 話	483-1151 内線2260		
-----	------	--	--	-----	--------	--	--	------	-------	--	--	-----	-----------------	--	--

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3420			事務事業名称	しろばら幼稚園運営事業							短縮コード	経常	3420	臨時	3421								
予算区分	会計	01	一般会計		款	10	教育費			項	04	幼稚園費					目	01	幼稚園費					
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		学校教育法第1条及び第77条～82条																	
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																								
しろばら幼稚園は、保育料が安く誰でも入りやすい公立幼稚園がほしいという市民の願いもあり、昭和47年10月1日に創立された。同時に事務事業の開始となった。																								
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系																			
平成20年6月に、今後の公立幼稚園の方向性を定めるために「しろばら幼稚園あり方検討委員会」を設置し検討した結果、しろばら幼稚園が全市民を対象とした施設の配置状況にないこと・市内幼稚園全体の保育料等を比べた時著しく不均衡な状況になっていること等の提言により、平成24年3月31日廃止となった。今後は新たな幼児教育の充実を図るとともに、幼児教育が市民全体の公平な負担で運営されるよう進めていく。																								
																			6本の柱（章）		02	第2章教育文化都市をめざして		
																			大項目（節）		01	第1節教育		
																			中 項 目		01	1. 幼児教育		
																			小 項 目		01	(1)幼児教育の充実		
細 項 目		02	②就園機会の拡充																					
実施計画の計画事業																								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間			～			計画事業費		千円											

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	5歳児とその保護者。						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 幼稚園と小学校（勝田台南小学校）との連携を図ると共に保育の充実に努めた。 1 音楽会への参加 2 特別活動等における児童と園児の交流 3 保護者や地域との連携（移動動物園、高齢者ふれあい教室等）						
	※平成24年度に計画していること： 平成24年3月31日廃園のため計画なし。						
意図 （何を狙っているのか）	安全で楽しく充実した幼稚園生活を送る。						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	在園児数	人	52	30	29	0
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	幼稚園の開園日数	日	190	190	188	0
	指標2	幼小連携における主な行事や交流の回数	回	7	7	7	0
	指標3						
成果指標	指標1	子どもの満足度（出席率）	%	100	100	100	0
	指標2	親の満足度（数値化に課題はあるが当面出席率とする）	%	100	100	100	0
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード		3420		事務事業名称		しろばら幼稚園運営事業				所属名		元気子ども課	
				単位	2 2 年度		2 3 年度				2 4 年度		
					実績		計画		実績		計画		
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0		0		0					
		県	千円	0		0		0					
		地方債	千円	0		0		0					
		一般財源	千円	0		778		967		0			
		その他	千円	3, 015		2, 166		2, 013		0			
	主な事業費の内訳			報酬197千円 賃金1, 996千円		報酬172千円 賃金1, 741千円		報酬171千円 賃金1777千円					
人件費 (B)			千円	24, 249. 3		15, 864. 7		8, 696. 2		0			
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	27, 264. 3		18, 808. 7		11, 676. 2		0			

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由							
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	唯一の公立幼稚園として, 幼児教育の充実を推進した。							
			☐ 結び付くが見直しの余地がある								
			☐ 結びつきが弱い・ない								
			☐ 評価対象外事項								
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☒ 達成している	平成２０年度の「あり方検討委員会」において, 平成２３年度末をもってしろばら幼稚園の廃止が決定され, しろばら幼稚園の事業が完了した。							
			☐ 達成していない								
			☐ 評価対象外事項								
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある								
			☐ 可能性はない								
			☐ 評価対象外事項								
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☐ 現状のままでよい								
			☐ 見直す必要がある								
☐ 評価対象外事項											
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２、３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある								
			☐ 効率性向上の可能性はある								
			☐ 両方可能性がある								
			☐ 可能性がない								
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等								
			☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用								
			☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し								
			☐ 受益者負担の見直し								
			☐ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 事業 名称	1			実施主体 (所管部署)			
			☐ 上記以外の方法					実施主体 (所管部署)			
			⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
					☐ ない						

コード	3420	事務事業名称	しろばら幼稚園運営事業				所属名	元気子ども課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			平成24年3月31日しろばら幼稚園廃園のため。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☒ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			平成24年3月31日廃園のため。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☒	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
特になし									

所属長コメント	本園は、平成14年度に園舎を勝田台南小学校南校舎 1 階部分に移転し、幼稚園教育を行ってきた。幼小の連携を教育活動の特色とし、相互の交流を行い互いの教育効果を高め合うべく、その実践に努めた。主な取組みとしては、校内音楽会、公開研究会、合同避難訓練等があり、小・中学校や地域との連携・交流に努めた。なお、平成20年6月に今後の公立幼稚園の方向性を検討するため「市立しろばら幼稚園あり方検討委員会」を設置し検討の結果、市立しろばら幼稚園は廃止し、八千代市における幼児教育のより一層の充実を図ると共に、幼児教育が市民全体の公平な負担で運営されることが重要であるとの提言を受け、平成24年3月末に廃園。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当評価のとおり、平成24年3月末日をもって廃園とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☒ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									